

会 議 録

会 議 名	令和 8 年度 山形市いじめ問題対策連絡協議会
開催日時	令和 8 年 6 月 1 1 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0
開催場所	委員会開催室
主 催	学校教育課
出 席 者	山形市 佐藤 孝弘 市長 山形県福祉相談センター (山形県中央児童相談所) 中島 貴史 副所長 山形地方法務局 齋藤 久美子 人権擁護課長 山形人権擁護委員協議会 勝見 祐子 山形県こども人権委員会委員長 山形市青少年指導センター指導委員連絡会 沼澤 義夫 会長 山形市青少年育成市民会議 伊藤 康則 会長 山形市子ども会育成連合会 前田 浩一 会長 山形市 P T A 連合会 長谷川 吉之介 会長 山形市 P T A 連合会母親委員会 渡邊 さおり 委員長 山形市社会福祉協議会 今野 厚志 会長 山形市小学校長会 小林 聡 会長 山形市中学校長会 高橋 修 会長 山形市立商業高校 猪又 義則 校長 山形市教育委員会 金沢 智也 教育長 山形市総務部総務課 長谷川 悌一 課長 山形市健康医療部母子保健課 佐藤 香 課長 山形市こども未来部こども家庭支援課 (こども家庭センター) 堀籠 晶子 課長 (所長) 山形市こども未来部保育育成課 酒井 朝男 課長 山形市こども未来部こども未来課 多田 恵理 課長 学校教育課 黒原 裕一 課長 学校教育課 有澤 徹 主任指導主事 (兼) 指導係長 学校教育課 深瀬 慶太 指導主事 学校教育課 三宅 慶知 指導主事
欠席者	山形警察署 松澤 聡 生活安全二課長
議 題	令和 8 年度 山形市いじめ問題対策連絡協議会について
資 料	別紙参照
作 成 者	学校教育課 指導主事 三宅 慶知
傍 聴 者	1 人

会議経過

1 開会

2 会長挨拶

3 報告

(1) 令和7年度いじめの実態について

<質問なし>

4 協議

(1) 令和7年度事業報告について

<◇質問・意見 ◆議長・事務局>

◇	人権擁護委員協議会
	ダイヤル相談件数、昨年度192件には不登校のものもあるが、不登校をたどるといじめに起因しているものもあると思われる。
◆	事務局
	不登校といじめの関係については、丁寧な聞き取りを行ったうえで、各学校と連携して対応を進めている。今回の種別の分け方は何が中心であったかという分け方。不登校がいじめと関わることもあるので、丁寧に連携を進めている。
◆	議長
	承認でよろしいか。
◇	一同
	賛成。

(2) 令和8年度事業計画（案）について

<◇質問・意見 ◆議長・事務局>

◇	一同
	質問なし。
◆	議長
	原案通りでよろしいか。
◇	一同
	賛成。

(3) その他

<提案>なし

5 情報交換

◇	山形県福祉相談センター
	いじめだけに関しての相談ではない、仮にいじめの相談があれば、学校と教育委員会とご相談をさせていただいている。虐待や非行の相談を受ける中で、いじめの加害や被害の話が出ることがあるが、学校と連携して行っている。 各自自治体でこのような会に参加しているが、いじめの件数を学年別でみると、見え

	てくるものもある。分析されていると思うが、同じ学年が年度ごとで件数が増加しているか減少しているかなどの見方をすることができる。
◆	事務局
	貴重なご意見なので、精査して、考えていく。
◇	山形地方法務局
	人権擁護委員と連携し、子どもの悩みに寄り添い、こどもの人権110番、子どもの人権SOSミニレター、子どもの人権SOS e-mail、チャット相談など様々なツールで相談を受け付けている。最近はチャット相談が増えている。中学生人権作文コンテストも毎年行っている。大切な成長時期にある中学生に人権について考えてもらい、自分で考え、表現してもらいたい。関係機関にもぜひ応募していただけるようご協力いただきたい。
◇	山形人権擁護委員協議会
	人権啓発が大きな役目。山形市は大きな事案がないとしても、ならないよう、起こさないように取り組んでいこうというのが人権教室、人権啓発。中学入学時や発達段階で人権啓発の時間をとっていただきたい。道徳とタイアップして人権教室をさせていただければありがたい。道徳のねらいと重なる部分が多々あるので、人権啓発の場面をぜひ設けさせていただき、連携して取り組ませてもらえればと思っている。また、人権書道を小学生対象に取り組んでいる。高校生の場合はデートDV、LGBTQ、企業と人権などについて人権教室をさせていただければと考えている。
◇	青少年指導センター指導委員連絡会
	できるだけ子どもと会う機会を設ける。見守り隊、こども食堂の手伝い、学童、子どもが集まるところに顔を出す。子どもの顔を見て確認する。学校運営協議会で授業を参観する。自分の判断だけでなく、相談できることが大事である。今後も子どもたちの顔をきちんと見て活動していく。
◇	青少年育成市民会議
	山形県青少年育成県民会議の「いじめをなくそう山形県民運動」に同調して、推進している。いじめをなくそう標語募集を6月下旬から8月下旬にかけて、各学校にお願いしている。併せて、児童生徒と地域の大人の対話会があるが、市民会議の中で今年は開催する予定でいる。
◇	子ども会育成連合会
	異年齢の子ども達の関わりで思いやりやリーダー性を養いたいと活動している。危険予知トレーニングを子どもたちに自主的にやってもらっている。これからの活動のどこに問題点があるかを引き出し、それに対する対策をみんなで出して、その後活動を行うということをしている。それにより、子どもたちの意識付け、いじめの環境をつくらないような環境づくりをやっていく必要があると考えている。
◇	P T A連合会
	P T Aなので、保護者、先生、市教育委員会、関係団体と連携し、子どもたちの幸せにつながる環境の整備、いじめ減少に努めている。P T Aなので、あくまで先生と保護者が連携していくことが大切。今年は山形市の大会が県大会を兼ねる。大会主題

	はいじめに関わる命の大切さをどう訴えていくか。基調講演では奈良県の薬師寺副住職の大谷さんからご講演いただく。県P連の事業として、命の大切さ、人権教育に関する学習会の補助として、諸活動に対して3万円の補助を行っている。その周知に努めていく。
◇	P T A連合会母親委員会 母親委員会は特に子どもの健全育成を目指している。子どもの自律と健全な成長を目指し生きる力を育むために、保護者同士の研修を行っている。昨年度は、不登校、登校渋り、SNSネットメディア、発達障害などについて話し合った。また山形県立保健医療大学の安保先生から、子どもがつらいときの子どもの守り方、親の受け止め方について教えていただいた。 今年度は5月に51校の代表と情報共有を行った。LINEやネットゲームでのいじめが多いこと、いじめ不登校の問題でSCへの相談方法やいじめアンケートへの学校の対応、発達障害のある、または疑いのある児童生徒への適切な対応といじめの防止などについての話題が出ており、他市町村の母親委員からも情報を得ることができたので、子どもの育ちという観点から適切な対応を山形市にも検討をお願いしたい。今後もいじめの減少、事案の解消につながる研修や情報交換を行っていく。
◇	社会福祉協議会 福祉面での様々な相談窓口を設けている。今年2月からカスハラの対応マニュアルを作成している。職員が安心して困りごとに対応できるように取り組んでいる。
◇	小学校校長会 心の天気アプリ、これにより子どもたちの困り感を把握でき、対応できたと聞いている。今月はいじめアンケートの1回目、子どもたちへの聞き取り、保護者からのアンケートを行っている。まずは子どもからの丁寧な聞き取り、保護者の理解を得ることが何より大事だと感じている。いじめについてはまず安全安心の確保が第一。 校長会では毎月、いじめ不登校の件数とそれに対する対応の事例を共有している。いじめの予防は子どもの関係づくりと考えている。小1のスタートアッププログラム、幼稚園の自由遊び、自由保育の良さを生かしながら、生活科を基に時間にゆとりをもたせた子どもたちの関係づくりを先行的に実施している学校もある。その効果を小学校全体で共有し進めていきたいと思っている。
◇	中学校校長会 中学校長会の取組、市の施策に則りながら未然防止に努めている。先ほど話にあった道徳のお話については、教科化にしたがい、いじめについて読みとく内容があり心情を培うようにしている。また、月に1回、生徒指導の連絡会を行っている。SNS対応や広域化している内容について対策をとっている。他に、人間関係や家庭関係も含めて生活アンケートをとり、未然防止に努めている。 健康観察アプリについては、朝の時点で心配な生徒に介入できている。情報端末、SNSいじめは広がっている。防止のために、指導主事や警察署に来て話をしてもらうなど、犯罪につながることや危険な行為を周知している。いじめアンケートへの学校間の対応の差については、校長会で共有して対応に差が出ないようにしていく。

◇	商業高等学校
	5月と10月に学校生活アンケートを生徒と保護者に実施している。面接週間を同時に設けて、担任からの聞き取りと情報共有をしている。4月に心理テストを行い、学年やメンタルヘルス委員会で共有している。特定の生徒の抱え込みを防ぐようにしている。人間関係などの悩み相談はある、丁寧な取り組みを進めていく。
◆	議長
	各団体の取り組みについて、質問はあるか。
◇	一同
	なし。
◆	議長
	様々な共有ができたので、今後も各機関で連携・連絡を取り、連携を強化していければと思う。

6 連絡

次回開催は、令和9年6月頃を予定している。

7 閉会